PEI-GF30 (ガラス繊維強化ポリエーテルイミド)

PEI-GF30 (ガラス繊維強化ポリエーテルイミド)とは、スーパーエンジニアリングプラスチックに分類される樹脂の材料です。PEIにガラス繊維配合で高剛性化。

Ultem 2300 • GF PEI

最終更新：2026/10/30

1.51 g/cm³	175 MPa	170 °C
比重（密度）	引張強さ	最高使用温度

PEEK-ESD・LCP-GF30・PSUとの違い

材料名を押すと、その材料のページに移動します。

	PEI-GF30 (ガラス繊維強化ポリエーテルイミド) このページ	PEEK-ESD (静電気対策PEEK)	LCP-GF30 (液晶ポリマー)	PSU (ポリ
引張強さ	175 MPa	90 MPa	190 MPa	70 MI
最高使用温度	170 °C	250 °C	240 °C	160 °
密度	1.51 g/cm³	1.4 g/cm³	1.7 g/cm³	1.24 g

「—」は材料データベースに値が載っていない項目です。

特徴と用途

材料としての特徴

- PEIにガラス繊維配合で高剛性化
- 航空宇宙規格対応
- 難燃性（低発煙）
- 耐熱性・寸法安定性向上

主な用途

- 航空機内装構造部品
- エンジン周辺部品
- 電気電子コネクタ

- 半導体製造装置

選び方

航空宇宙グレードで高い耐熱性と強度が必要な場合に。

メリット

- 航空規格対応
- 高強度・高剛性
- 難燃・低発煙

デメリット

- 非常に高価
- 成形条件シビア

一般的な特性に基づく参考情報です。実際の性能は製造条件・使用環境により異なる場合があります。

物性値

公的規格・技術資料をもとにした参考値です。

熱的性質

項目	値	条件
最高使用温度	170 °C	—
HDT	210 °C	1.8MPa

物理的性質

密度	1.51 g/cm³

加工・規制・注意

規制適合

RoHS	適合
REACH	適合

出典・ご利用上の注意

- 2025-12-07

作成者：ものづくりのためのお役立ち情報編集チーム（株式会社メイカーズ）
監修：株式会社メイカーズ　商品開発戦略グループ
作成日：2026/10/30
最終更新：2026/10/30

本ページの物性値・特性情報は、JIS・ISO・ASTM等の公的規格およびメーカー技術資料を参照した参考情報です。実際の材料選定・使用にあたっては、必ず材料メーカーの公式データシートをご確認の上、専門家にご相談ください。 本データベースは、設計・開発段階での材料比較・選定にお役立ていただけるよう、幅広い材料の物性情報を掲載しています。図面加工のご依頼やおすすめ材料のご提案は、お気軽に お問い合わせ ください。

※ 本ページに記載の商標は各社の登録商標または商標です。Inconel®, Monel®は Special Metals Corporation、Hastelloy®は Haynes International, Inc.、Vespel®, Kapton®, Kalrez®, Kevlar®は DuPont、Delrin®は TJC、Teflon™, Viton™は The Chemours Company、ジュラコン®は ポリプラスチックス株式会社、MCナイロン®は 三菱ケミカルアドバンスドマテリアルズ株式会社の商標です。

図面加工のご依頼やおすすめ材料のご提案は、お問い合わせください。

よくある質問

PEI-GF30 (ガラス繊維強化ポリエーテルイミド)の密度（比重）は？

PEI-GF30 (ガラス繊維強化ポリエーテルイミド)の密度（比重）は1.51 g/cm³です。

PEI-GF30 (ガラス繊維強化ポリエーテルイミド)の引張強さは？

PEI-GF30 (ガラス繊維強化ポリエーテルイミド)の引張強さは175 MPaです。

PEI-GF30 (ガラス繊維強化ポリエーテルイミド)の最高使用温度は？

PEI-GF30 (ガラス繊維強化ポリエーテルイミド)の最高使用温度は170 °Cです。

PEI-GF30 (ガラス繊維強化ポリエーテルイミド)の主な用途は？

PEI-GF30 (ガラス繊維強化ポリエーテルイミド)は、航空機内装構造部品、エンジン周辺部品、電気電子コネクタなどに使われます。